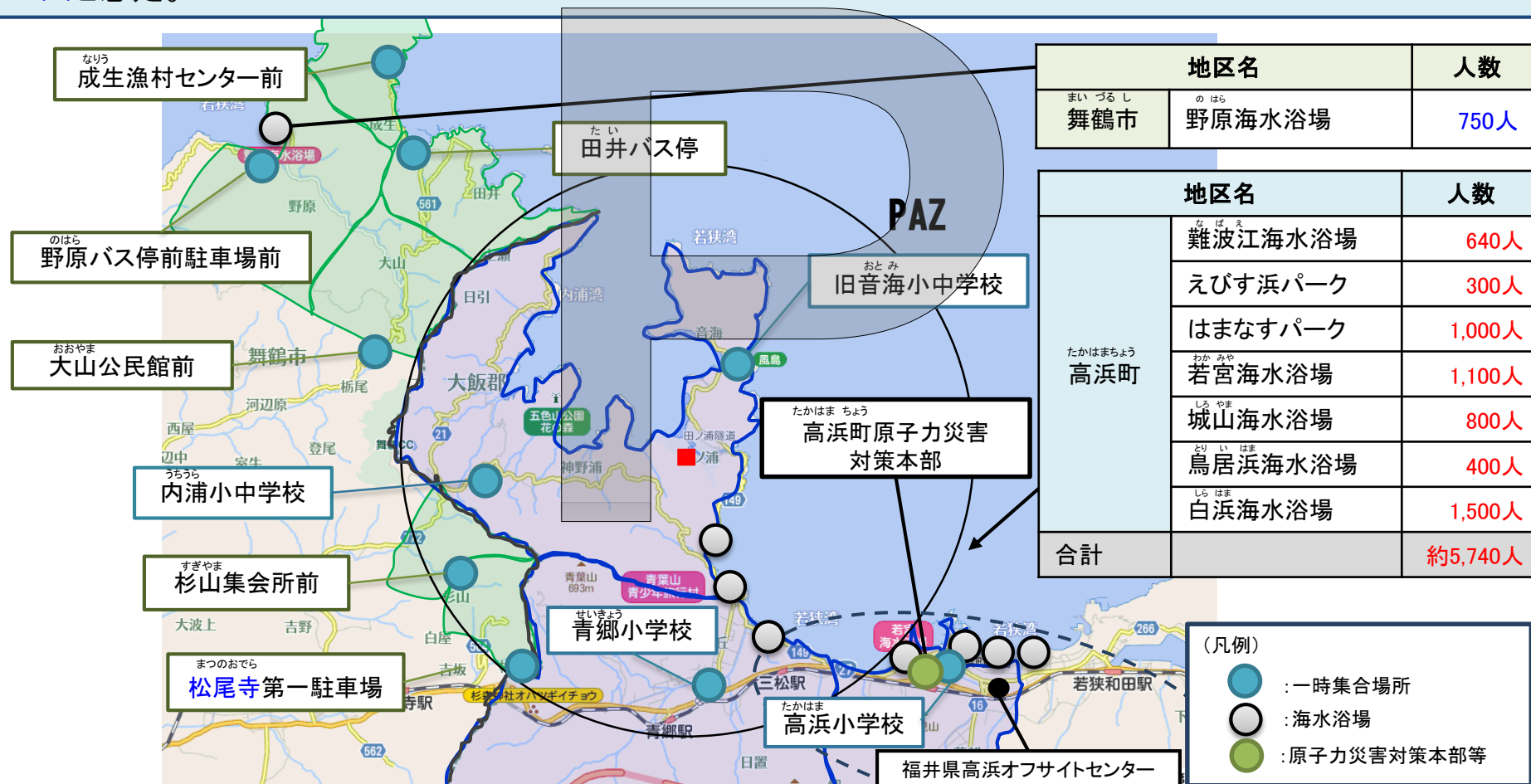


PAZ内の海水浴場及び入場者の数

- 高浜町ではPAZ内に海水浴場が7か所あり、平成28年度シーズンの1日当たりの最大入込客数は約5,740人。
- 高浜町の海水浴客の交通手段は、対象となる海水浴場周辺の駐車場利用率によると全体の約9割が自家用車利用で、残りの1割が貸切バス及び公共交通機関を利用。（平成28年度観光客入込調査 高浜町）
- 舞鶴市ではPAZに準じた避難を行う地域に海水浴場が1か所あり、1日当たりの想定最大入込客数を約750人と想定。



※ 野原海水浴場の想定最大入込客数は、同海水浴場の1日当たりの平均入場見込人数約〇〇人に、高浜町の海水浴場における、一日当たりの最大入込人数と平均入込人数との比率を乗じて試算。

▶ たか はま ちょう 高浜町において施設敷地緊急事態で必要となる輸送能力は、想定対象人数約**3,358人**（うち支援者数**639人**を含む）について、バス**64台**、福祉車両**85台**（ストレッチャー仕様**8台**、車椅子仕様**77台**）。

	想定対象人数	必要車両台数※1			備考
		バス※2	福祉車両※3 (ストレッチャー仕様)	福祉車両※3 (車椅子仕様)	
学校・保育所の児童等の避難	児童等 961人 +職員 146人 (= 1,107人)	25台 (児童等 961人 +職員 146人)	0台	0台	保護者への引き渡しによりその分必要車両台数は減少【資料P27】
医療機関・社会福祉施設の入所者の避難	入所者数 180人 +職員数 133人 (= 313人)	3台 (入所者 70人 +職員 23人)	0台 (入所者 0人 +職員 0人)	55台 (入所者 110人 +職員 110人)	放射線防護対策が講じられた若狭高浜病院及び若狭高浜病院付属介護老人保健施設(297人(入所者166人+職員131人))については、自施設内の放射線防護区域に移動し、入所者等の避難に必要な体制が整うまで屋内退避を実施。【資料P28】
無理に避難すると健康リスクが高まる 医療機関・社会福祉施設の入所者 及びその支援者の避難※4	入所者数 14人 +職員数 12人 (= 26人)	0台 (入所者 0人 +職員 0人)	4台 (入所者 14人 +職員 12人)	0台 (入所者 0人 +職員 0人)	放射線防護対策が講じられた若狭高浜病院及び若狭高浜病院付属介護老人保健施設(38人(入所者19人+職員19人))については、自施設内の放射線防護区域に移動。放射線防護対策が講じられていない施設は、放射線防護施設に輸送。近距離のためピストン輸送(4往復)を想定【資料P28】
在宅の避難行動要支援者の避難	453人 +支援者 453人 (= 906人)	21台 (要支援者 453人 +支援者 453人)	0台	0台	支援者の車両での避難によりその分必要車両台数は減少【資料P29】
無理に避難すると健康リスクが高まる 在宅の避難行動要支援者 及びその支援者を放射線防護施設に輸送※4	186人 +支援者 186人 (= 372人)	0台	4台 (要支援者 15人 +支援者 15人)	22台 (要支援者 171人 +支援者 171人)	放射線防護施設に輸送 近距離のためピストン輸送(4往復)を想定【資料P29】
観光施設から避難する一時滞在者	60人 (600人 ×0.1)	2台	0台	0台	1日あたりの観光客数 600人 のうち、9割以上が自家用車で訪問している(『平成 28 年度観光客入込調査高浜町』)ことを踏まえ、その1割を想定対象人数として算入。【資料P32】
海水浴場から避難する一時滞在者	574人 (5,740人 ×0.1)	13台	0台	0台	1日あたりの海水浴客 480人 のうち、9割以上が自家用車で訪問している(『平成 28 年度観光客入込調査高浜町』)ことを踏まえ、その1割を想定対象人数として算入。【資料P33】
合 計	3,358人	64台	8台	77台	

※1 数字は現段階で高浜町が把握している暫定値
 ※2 バスは1台あたり45人程度の乗車を想定
 ※3 福祉車両(ストレッチャー仕様)は1台あたり1人、福祉車両(車椅子仕様)は1台あたり2人の避難行動要支援者を搬送することを想定
 ※4 「無理に避難すると健康リスクが高まる者」は、輸送の準備が整うまで放射線防護施設内に屋内退避

➤ 施設敷地緊急事態発生時には、社会福祉施設、在宅の避難行動要支援者、教育機関の避難等のために、福井県嶺南地方のバス会社が保有する車両のほか、高浜町、おい町、小浜市内の医療機関、社会福祉施設、社会福祉協議会や関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。

		確保車両台数			備考
		バス	福祉車両 (ストレッチャー仕様)	福祉車両 (車椅子仕様)	
(A) 必要車両台数		64台	8台	77台	
(B) 確保車両台数		計64台	計8台	計77台	
確保先	・高浜町、おい町、小浜市、若狭町 ・医療機関、社会福祉施設、社会福祉協議会(高浜町、おい町、小浜市、若狭町)	2台	5台	55台	保有車両台数 バス18台 福祉車両(ストレッチャー)21台 福祉車両(車椅子)91台
	バス会社(福井県嶺南地方)	53台	—	—	保有車両台数 バス 187台
	関西電力	9台	3台	22台	保有車両台数 バス10台 福祉車両(ストレッチャー、車椅子兼用)21台 福祉車両(車椅子)4台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請